

現場見学会開催のお知らせ！ 気仙沼市本吉振興会連合会の皆さまが 三陸沿岸道路の工事現場を見学します

三陸沿岸道路のうち、本吉気仙沼道路～唐桑高田道路の区間において、工事現場を「本吉振興会連合会」の皆さまに見学いただくこととなりましたのでお知らせします。

本吉振興会連合会の皆さまには普段なかなか入る機会のない工事現場を見学して頂き、工事の進捗状況や復興の足音を直に感じてもらいます。

三陸沿岸道路は、延長359kmの自動車専用道路（鳴瀬奥松島IC以北は無料）です。
また、三陸沿岸道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。

記

1. 日 時 : 平成29年11月1日(水) 9:45～13:40
2. 集合場所 : 本吉総合体育館 駐車場(9:20) ・・・別紙-1
3. 見学場所 : 三陸沿岸道路の工事現場 ・・・別紙-2
 - ・本吉気仙沼道路 (仮称) 大谷IC～(仮称) 気仙沼階上IC
 - ・唐桑高田道路 (仮称) 県境トンネル
 - ・気仙沼道路 (仮称) 気仙沼湾横断橋
4. 概 要 : 三陸沿岸道路事業の概要説明、現場見学
5. 参加者 : 本吉振興会連合会(約20名)
6. その他 : 取材される際は、集合場所にお越しください。
※現場入場する際に必要となるヘルメットは、こちらで用意いたします。
天候状況により中止となる場合がございます。

【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、気仙沼記者クラブ】

問 い 合 わ せ 先

《現場見学について》

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 気仙沼国道維持出張所
電話 0226-23-5801 ほりのうち よしひろ
建設監督官 堀ノ内 義博(内線6434)

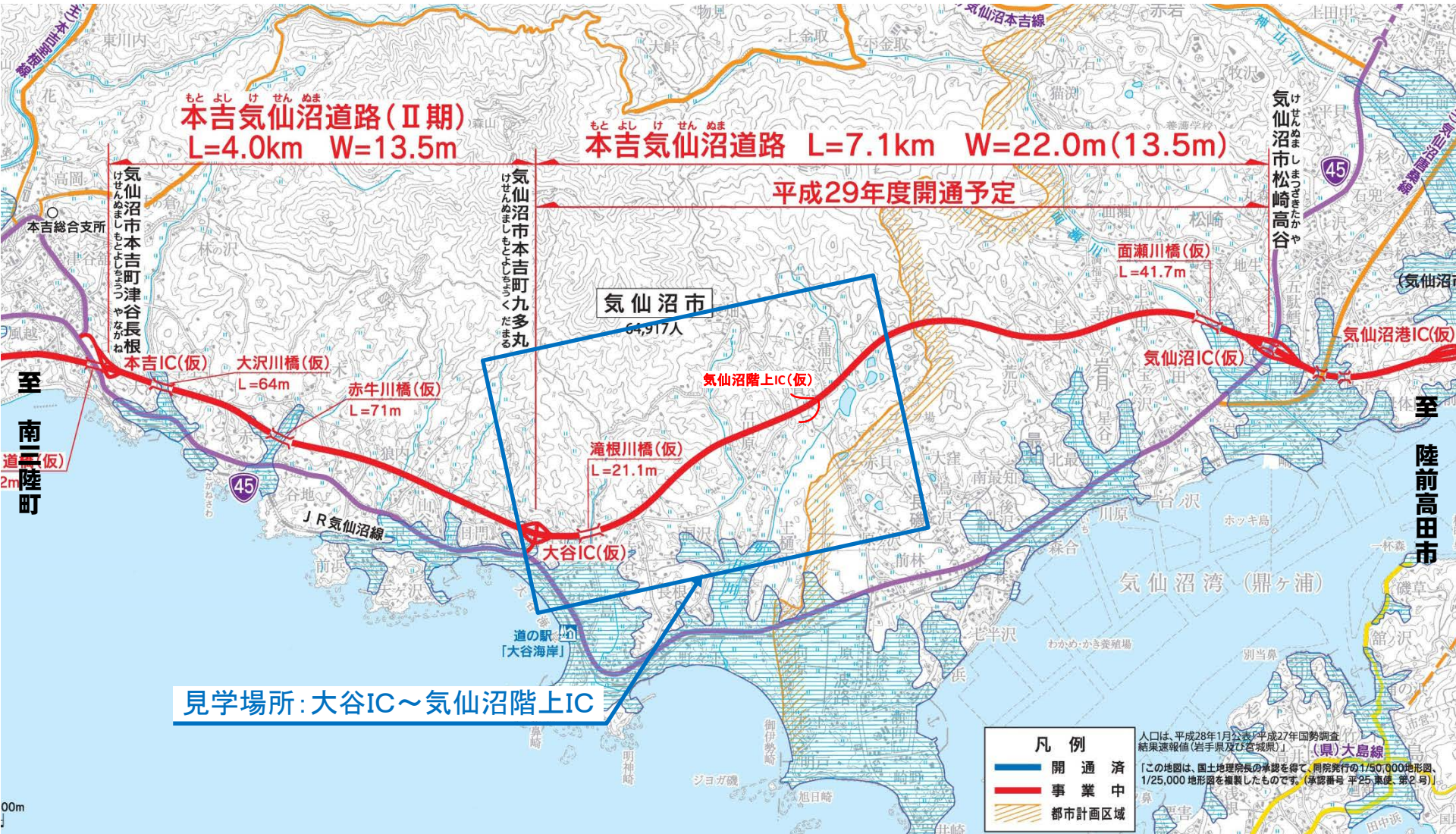
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 気仙沼分室
電話 0226-24-3212 あべ しんいち
建設監督官 阿部 進一(内線6433)
みなと こういち
建設監督官 湊 光一(内線6432)

《事業について》

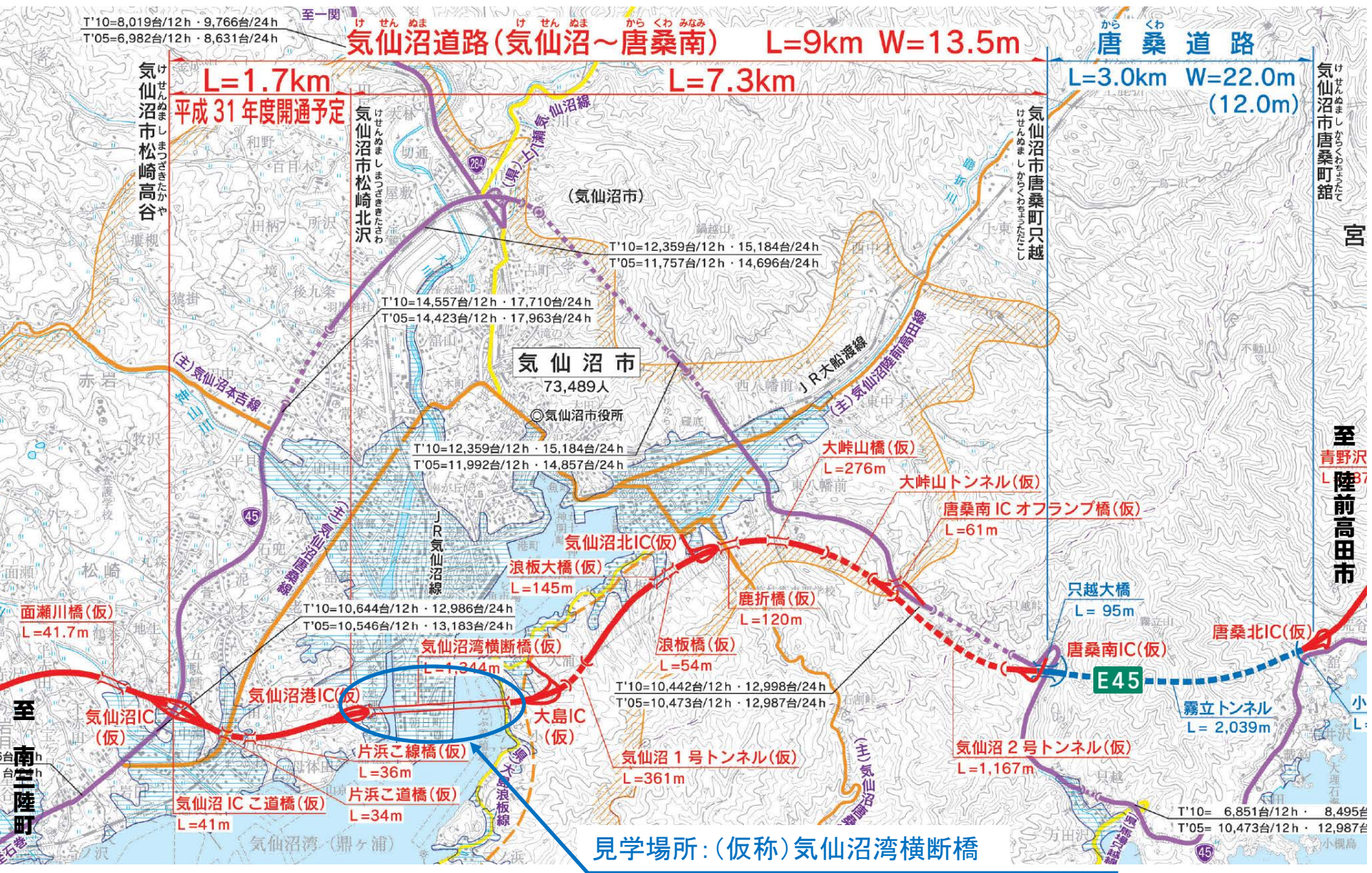
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
電話 022-248-4131(代) えんどう まさし
副 所 長 遠藤 雅司(内線205)
うべ よしお
設計課長 宇部 吉男(内線461)

【三陸沿岸道路HP】 <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/fukkou/index.html>

本吉気仙沼道路（大谷IC(仮)～気仙沼IC(仮)）見学場所



気仙沼道路 (気仙沼IC(仮)～唐桑南IC(仮)) 見学場所

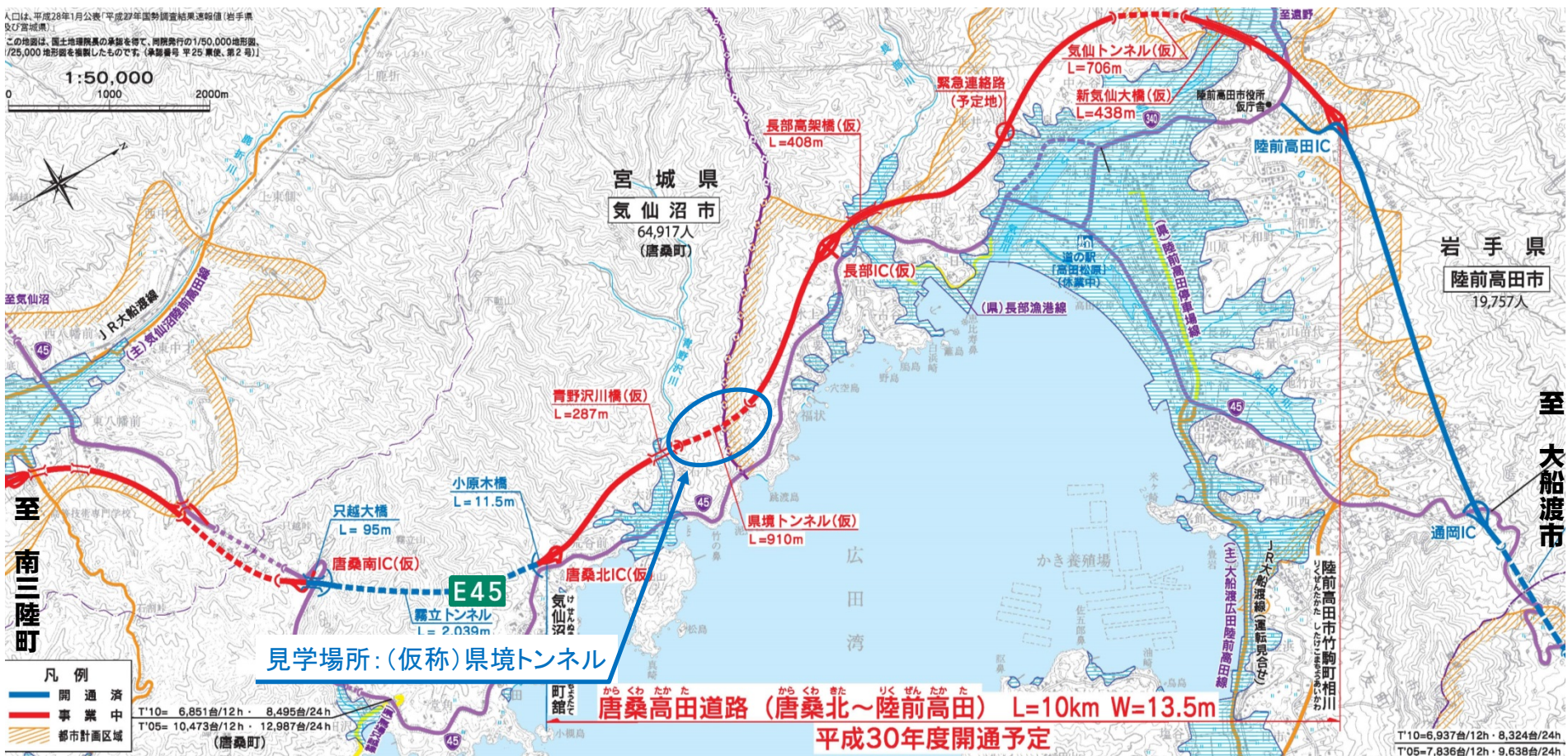


見学場所: (仮称)気仙沼湾横断橋

唐桑高田道路（唐桑北IC(仮)～陸前高田IC(仮)）見学場所

人口は、平成28年1月公表「平成27年国勢調査結果速報値（岩手県及び宮城県）」
この地図は、国土院院長の承認を得て、再発行の1/50,000地形図、1/25,000地形図を複製したもので、（簿記番号 平 25 第2号）

1:50,000
0 1000 2000m



見学場所: (仮称) 県境トンネル

唐桑高田道路（唐桑北～陸前高田） L=10km W=13.5m

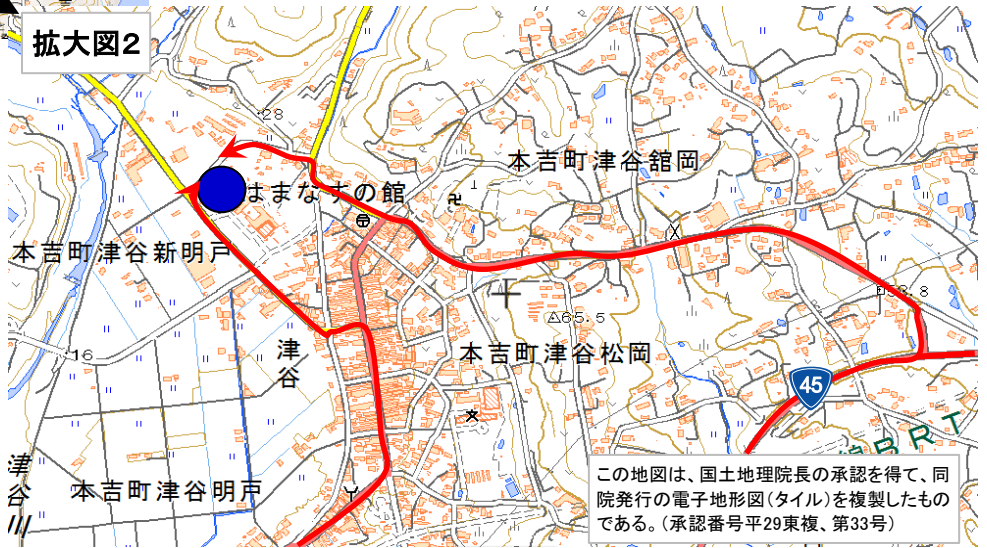
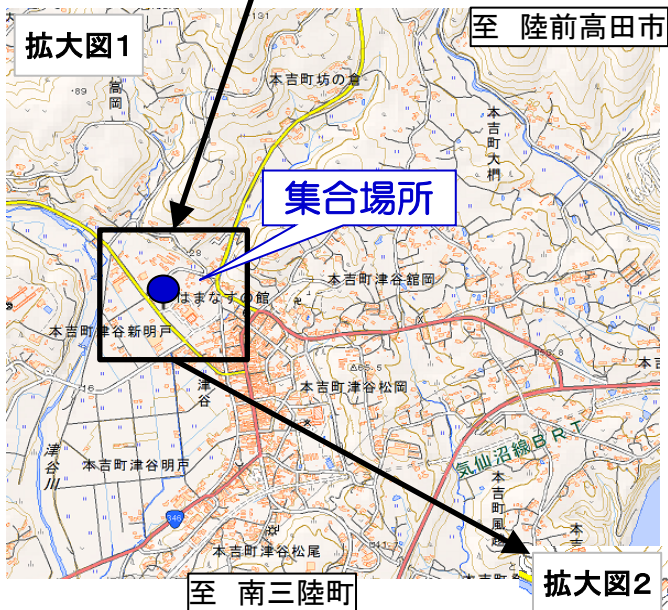
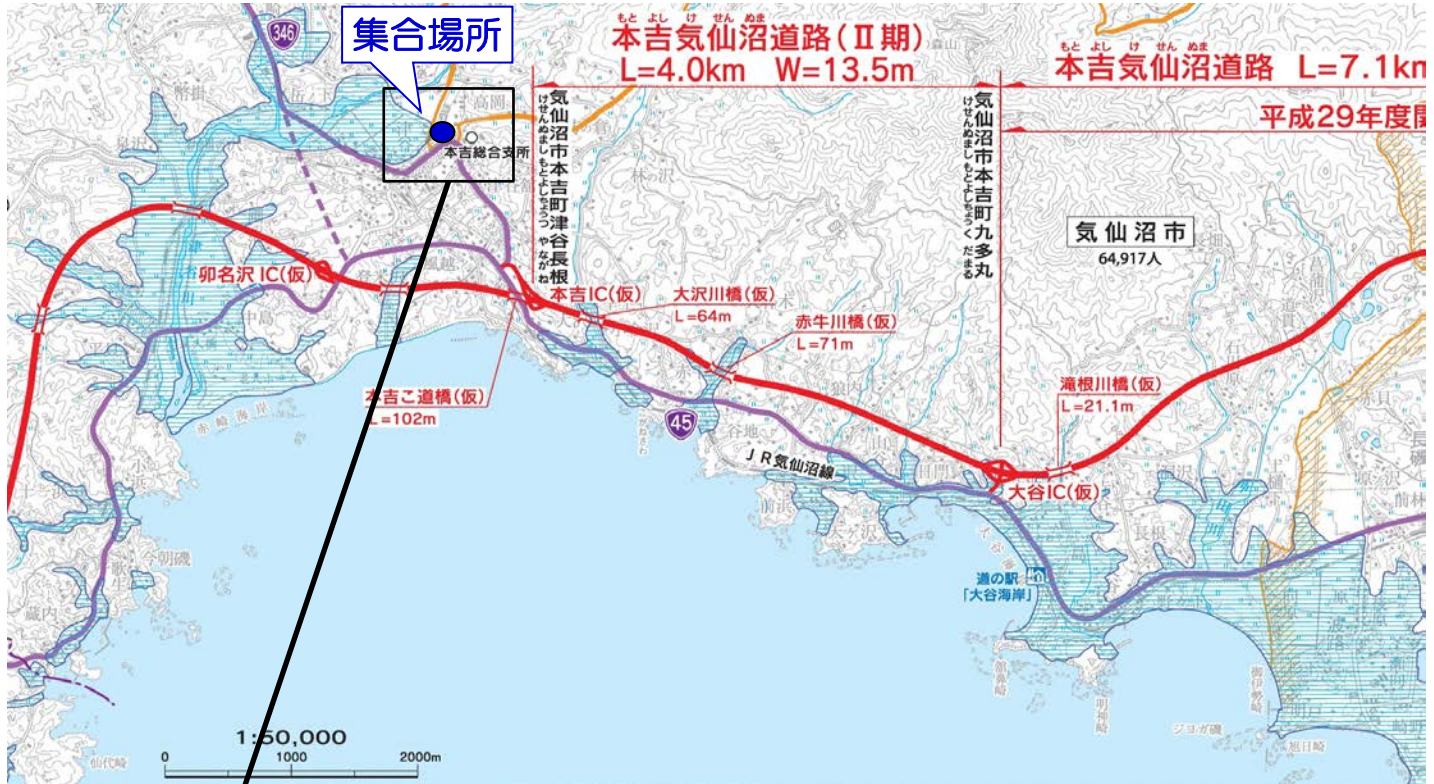
平成30年度開通予定

T'10=6,937台/12h・8,324台/24h
T'05=7,836台/12h・9,638台/24h

【集合場所】

本吉総合体育館 駐車場
宮城県気仙沼市本吉町津谷新明戸136

【位置図】



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号平29東復、第33号)

(仮称) 気仙沼湾横断橋の概要

◆ 橋梁形式

- 海上部：① 3 径間連続鋼斜張橋
- 陸上部：② 鋼 7 径間連続箱桁橋 + 鋼 3 径間連続箱桁橋
- 橋長：1,344m
(①680m+②664m)

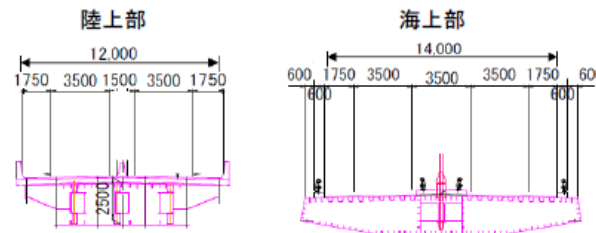
◆ 桁下クリアランス → 3.2m

- 既往最大通過船舶のマスト高に余裕高さ 2m以上を加えた高さ
 - ・既往最大船舶
(貨物船 マスト高 29.287m)
 - ・想定津波高
(レベル2津波痕跡高、TP+ 10m)

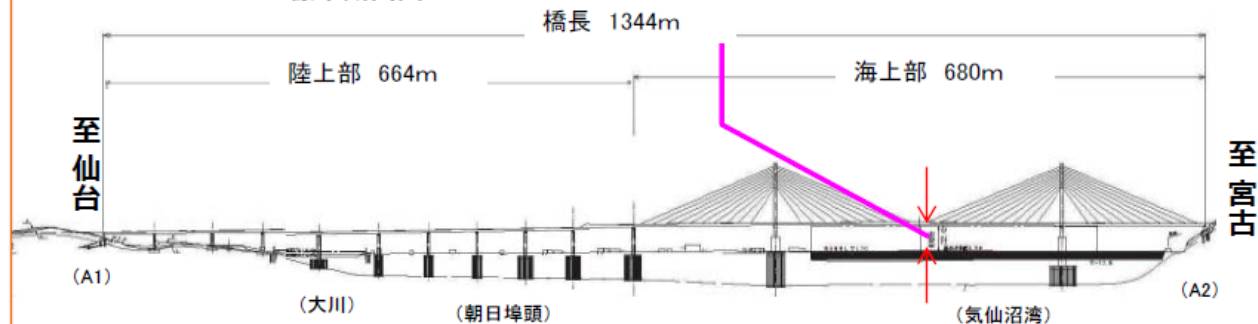
◆ 橋脚天端 → TP+ 1.5m

- 天端は津波時水位より上
(鋼製主塔を海水にさらさない)
- 津波時漂流船舶の船首が主塔に衝突しない高さ
- 平常時に既往最大船舶の船首が主塔に衝突しない高さ

▼ (仮称) 気仙沼湾横断橋の全体イメージ



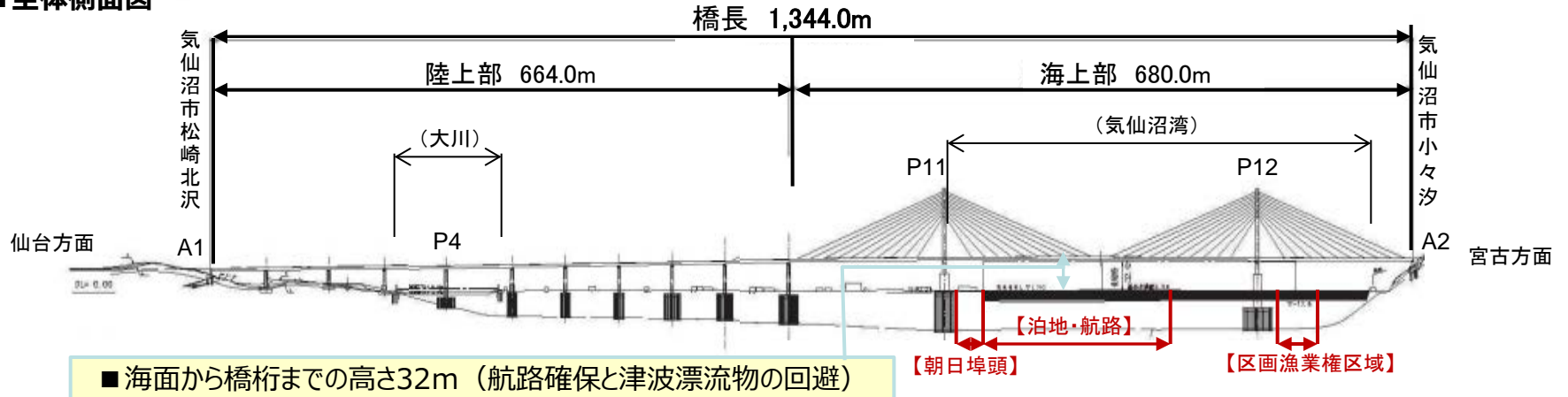
▲ 標準断面図



【海面から橋桁までの高さ3.2m】
・航路確保及び津波漂流物を回避

(仮称)気仙沼湾横断橋の概要

■全体側面図

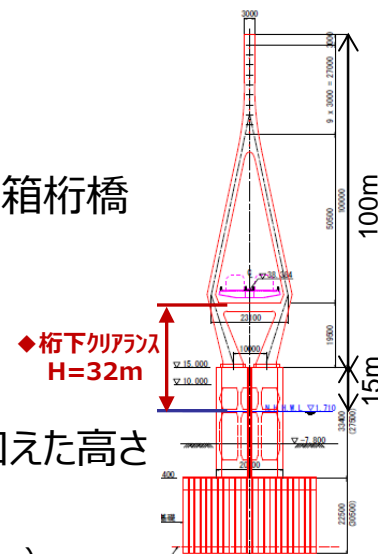


◆橋梁形式

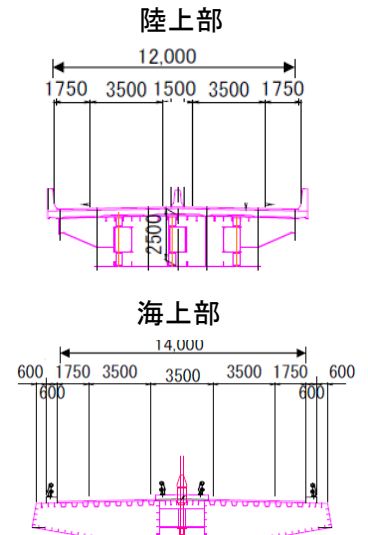
- 橋 長：L = 1,344m
- 陸上部：① 7径間連続鋼箱桁橋 + 3径間連続鋼箱桁橋
- 海上部：② 3径間連続鋼斜張橋 (680m)

◆桁下クリアランス → 32m

- 既往最大通過船舶のマスト高に余裕高2m以上を加えた高さ
 - ・既往最大船舶：貨物船カリマンタン・イブ号
(パナマ船籍、6,749 t、マスト高：29.287m)



▲主塔断面図 (P12)

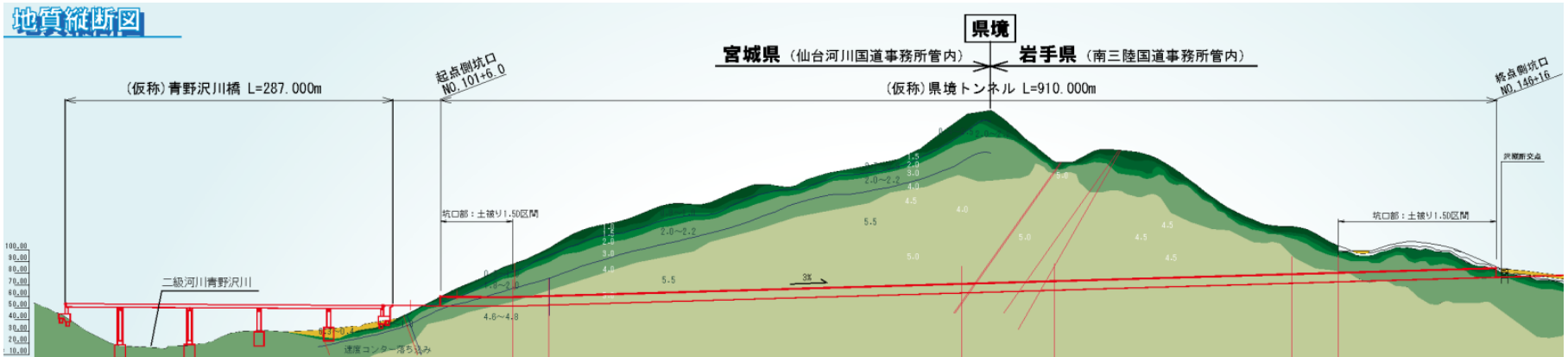


▲標準断面図 (橋桁)

工事概要

国道45号 唐桑地区トンネル工事

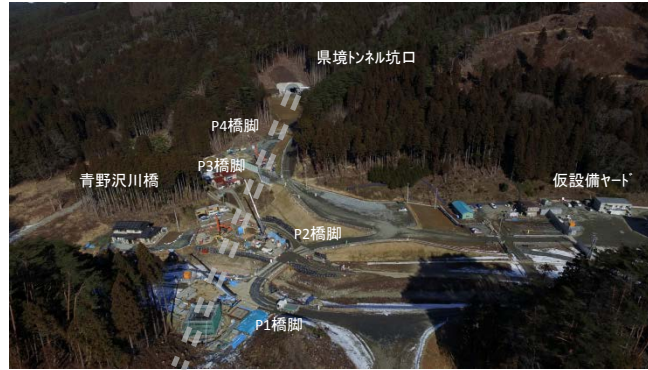
地質縦断面図



【図】 県境トンネルの進捗状況



工事着工前

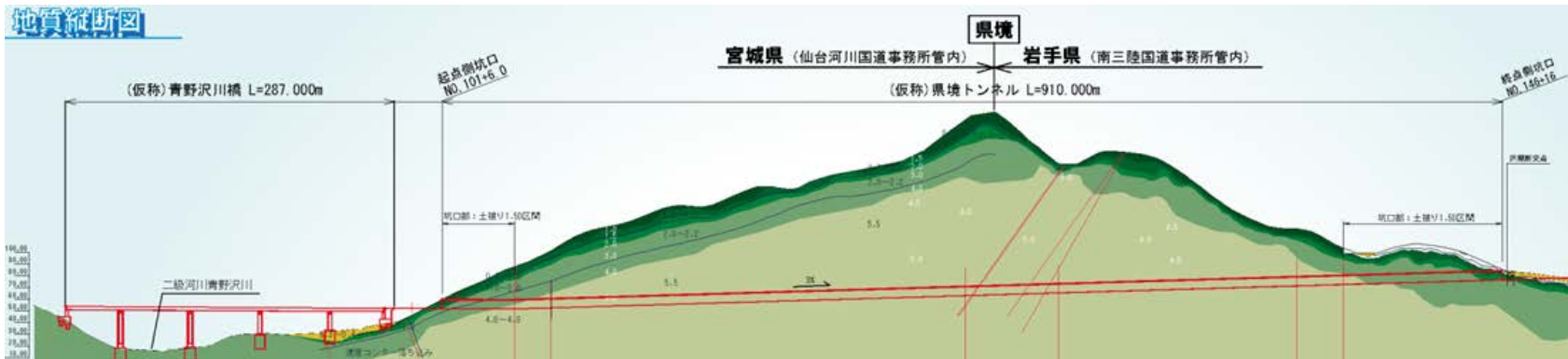


現況

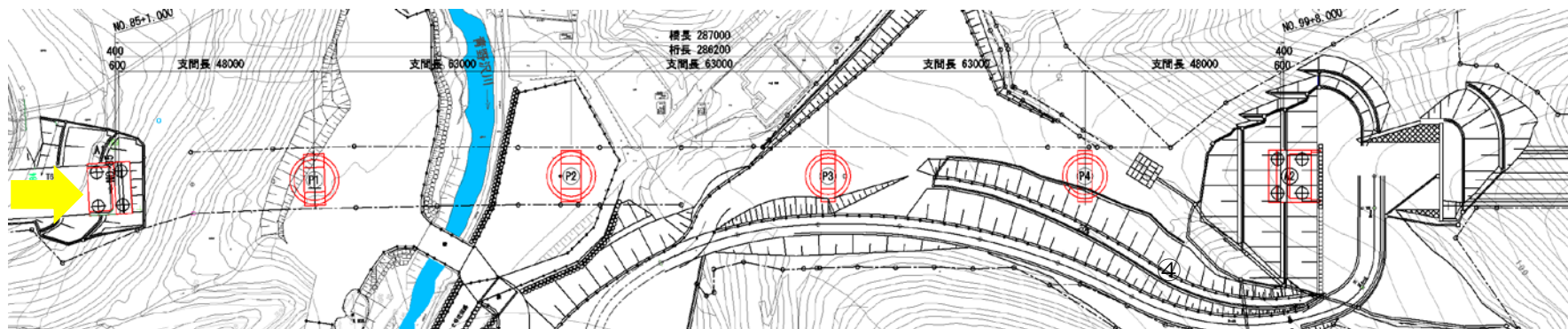


終点側坑口の現況

【図】 県境トンネル 起点側坑口部の工事経過



青野沢川橋（仮称） 延長 287m



進捗状況



終点側坑口の現況

本吉気仙沼道路（三陸沿岸道路）の整備効果

効果①：災害時における緊急輸送路の確保

- ◆ 東日本大震災では、国道45号等の幹線道路が通行止め
- ◆ 津波浸水域の回避により、本吉気仙沼道路(三陸沿岸道路)が大規模災害時の代替道路として機能



効果②：高次救急医療施設への速達性の確保

- ◆ 本吉気仙沼道路は、本吉地区から気仙沼市立病院へのアクセス改善により、迅速な医療活動に寄与
- ◆ 本吉気仙沼道路を含む三陸沿岸道路の整備により、気仙沼市から高次救急医療施設である石巻赤十字病院への搬送時間が38分短縮



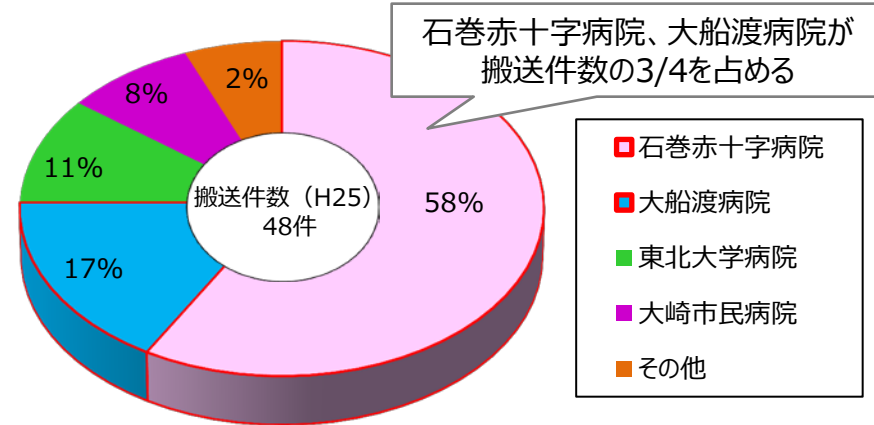
【気仙沼道路・唐桑高田道路】～高次医療施設へのアクセス性向上～

- ◆気仙沼市から高次救急医療施設への搬送割合は、石巻赤十字病院と大船渡病院が全体の3 / 4 を占める
- ◆気仙沼道路、唐桑高田道路及び三陸沿岸道路の整備により、高次救急医療施設への搬送時間が短縮し、地域医療サービスの向上に期待

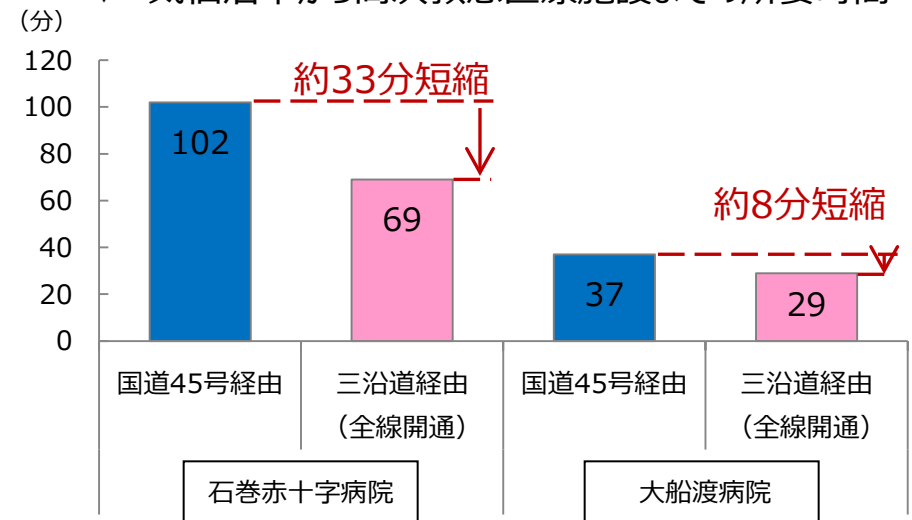
▼ 気仙沼市から三次医療機関への搬送経路



▼ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送割合 (H25年)



▼ 気仙沼市から高次救急医療施設までの所要時間



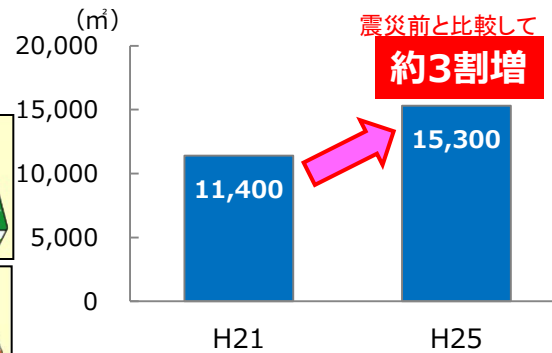
【気仙沼道路・唐桑高田道路】～地域産業活性化を支援～

- ◆東日本大震災で被災した陸前高田市の長部地区では、水産加工団地を中心に水産加工業の再建が進行
- ◆気仙沼道路、唐桑高田道路及び三陸沿岸道路の整備により、都市圏へのアクセス性が向上し所要時間が短縮することで、当地区の水産加工業における販路拡大や生産性向上、産業活性化等に期待

▼ 長部水産加工団地から仙台への搬送経路

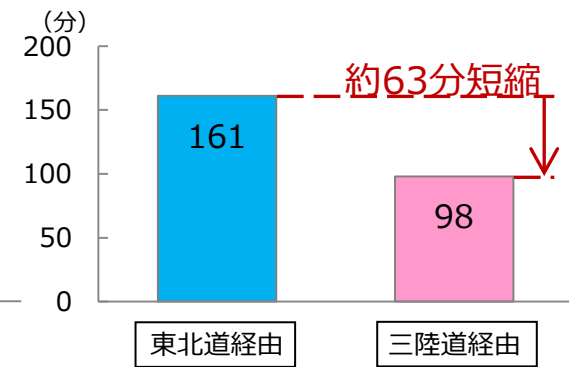


▼ 長部地区の加工場面積



資料：陸前高田市水産課提供データ

▼ 長部地区から仙台の所要時間



資料：H22道路交通センサス

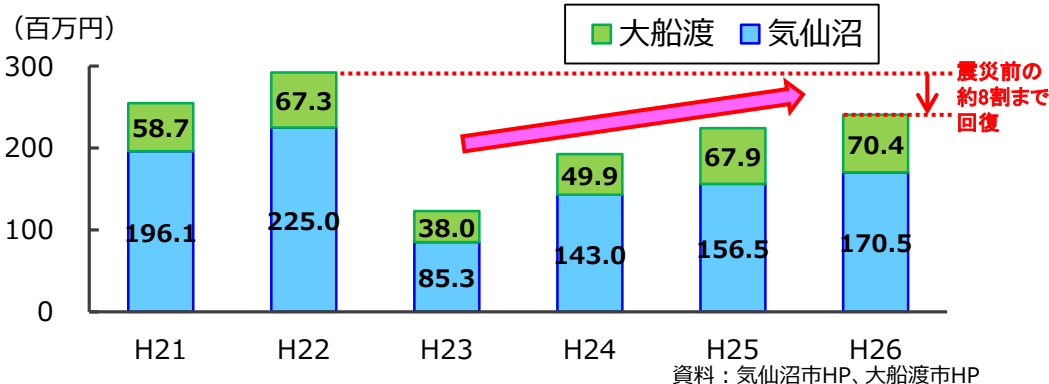
▼ 長部水産加工団地の位置



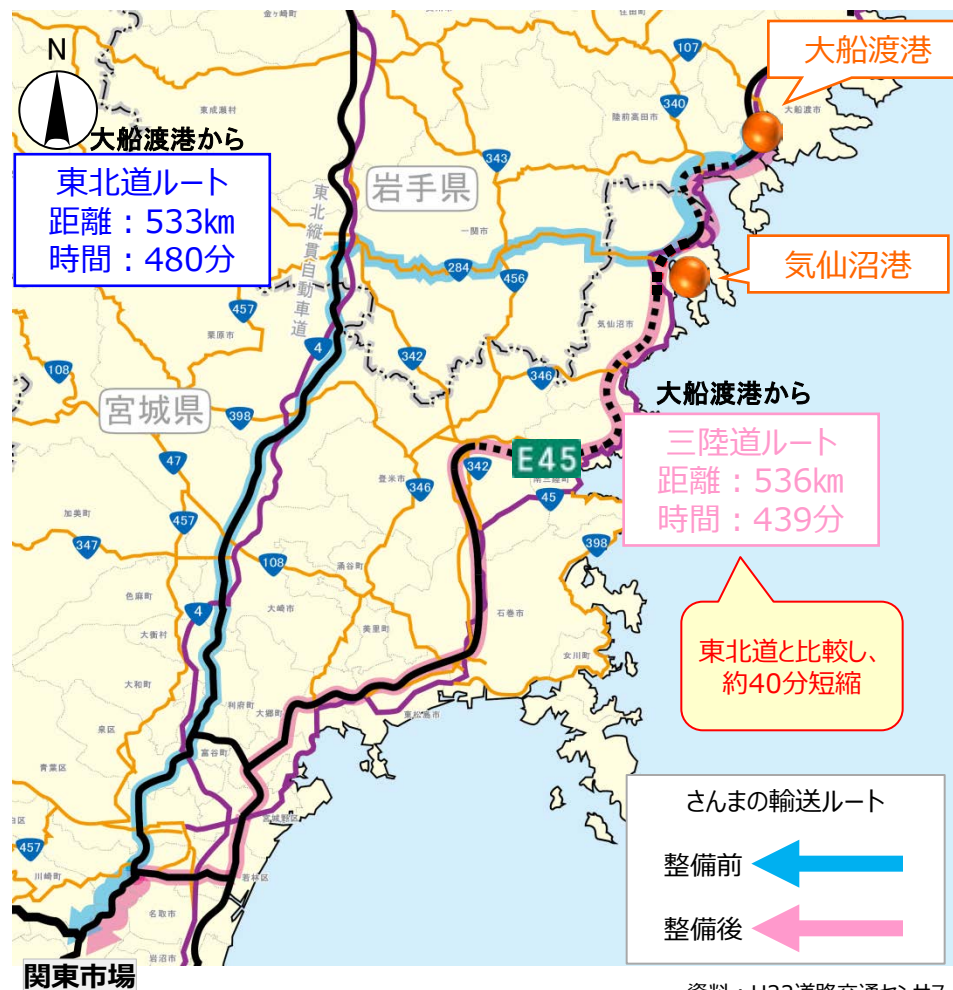
【気仙沼道路・唐桑高田道路】～地域産業の復興加速を支援～

- ◆東日本大震災の被災により、気仙沼港及び大船渡港の水揚げ高は大幅に減少したが、現在まで回復傾向
- ◆両港のサンマの水揚量は本州において1位・2位に位置しており、築地市場における取扱量は岩手県・宮城県で約4割のシェア
- ◆気仙沼道路、唐桑高田道路を含めた三陸沿岸道路の整備により、輸送時間短縮による商品価値向上や出荷体制の強化など、水産業における復興の加速支援に期待

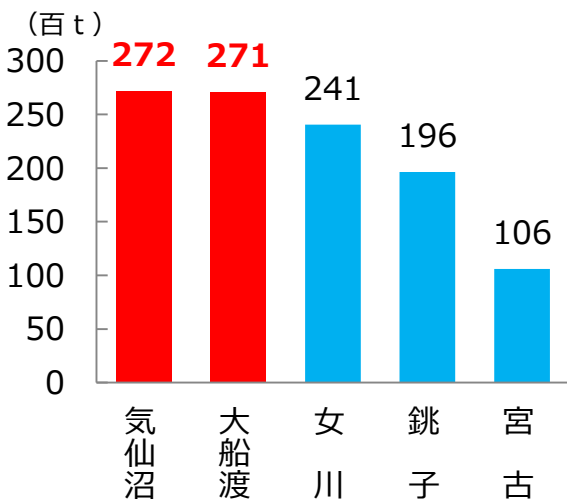
▼気仙沼・大船渡魚市場における水揚げ高の推移



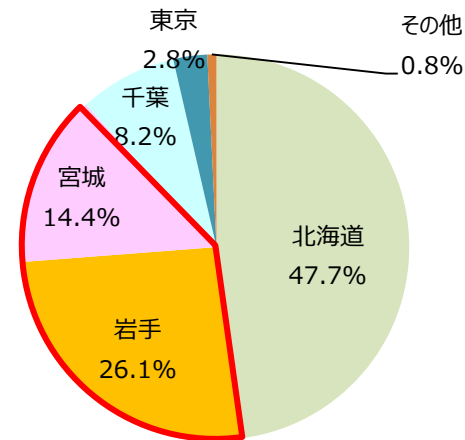
▼気仙沼港・大船渡港から関東市場への出荷経路



▼漁港別サンマの水揚量(H26・本州)



▼築地市場におけるサンマの取扱実績 (H28年度)



【気仙沼道路・唐桑高田道路】～広域的な観光周遊ルートの形成による観光振興～

- ◆三陸沿岸地域は、復興国立公園に指定されるなど、魅力的な観光資源が点在
- ◆高規格道路ネットワークによる広域観光周遊ルートが形成され、観光振興に期待

▼宮城県・岩手県における高規格道路ネットワーク



三陸復興国立公園



▲浄土ヶ浜（宮古市）



▲碁石海岸（大船渡市）



▲折石・唐桑半島（気仙沼市）



▲御箱崎・箱崎半島（釜石市）

南三陸金華山国定公園



▲神割崎（南三陸町）



▲金華山（石巻市）